

1) システムの名称 :

InterSystems ENSEMBLE® (アンサンブル)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

16. その他の情報基盤系 (統合プラットフォーム)

3) 特色 :

ミッションクリティカルな医療アプリケーションの開発と統合、複数システムを統合したコンポジットアプリケーションの開発、ESB(エンタープライズ・サービス・バス)やSOAインフラ構築のためのインテグレーションプラットフォーム。HL7、DICOMなどの業界標準をサポートし、院内のシステム連携、データ統合の他、国レベル、地域レベルでの医療情報交換の基盤として活用されている。

■迅速な開発とポータル構築

システム統合、ポータルアプリケーション開発、管理に必要な機能を単一の製品として提供し、統合・開発・管理が統一された単一の環境でシンプルに行え、これまでの統合に係る複雑さを排除し、迅速な開発が可能。

■接続性

幅広い種類の接続アダプタが準備されており、主要なアプリケーション、データベース、プロトコルなどとの接続が簡単に行える。また、オブジェクト継承やSOAPサービスなどによる開発により、開発の手間を縮小しカスタムアダプタの開発が可能。

■ワークフローとBAM機能

ビジネスプロセスやワークフロー設定・管理のBPMツール、BAM機能が備わり、リアルタイムでのモニタやデータ分析が可能。ダッシュボード機能による警告や状況をビジュアルに表示することもできる。

■統一サービスアーキテクチャ

異なるプログラミング・モデルやデータフォーマットを一貫性のある効率的なオブジェクトとして表現し、様々な技術から再利用可能で、容易にシステム統合と開発が行える。

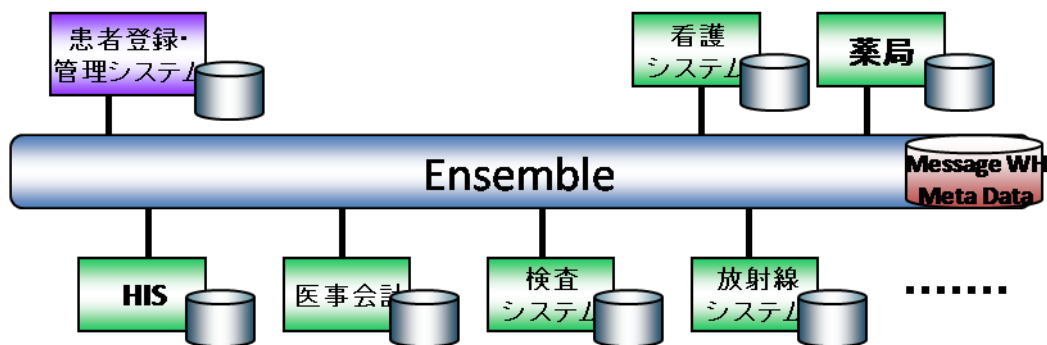
■永続オブジェクトエンジン

高性能オブジェクトデータベースを搭載し、全てのメッセージを格納。処理のモニタ、各種レポート、BAM機能を提供。

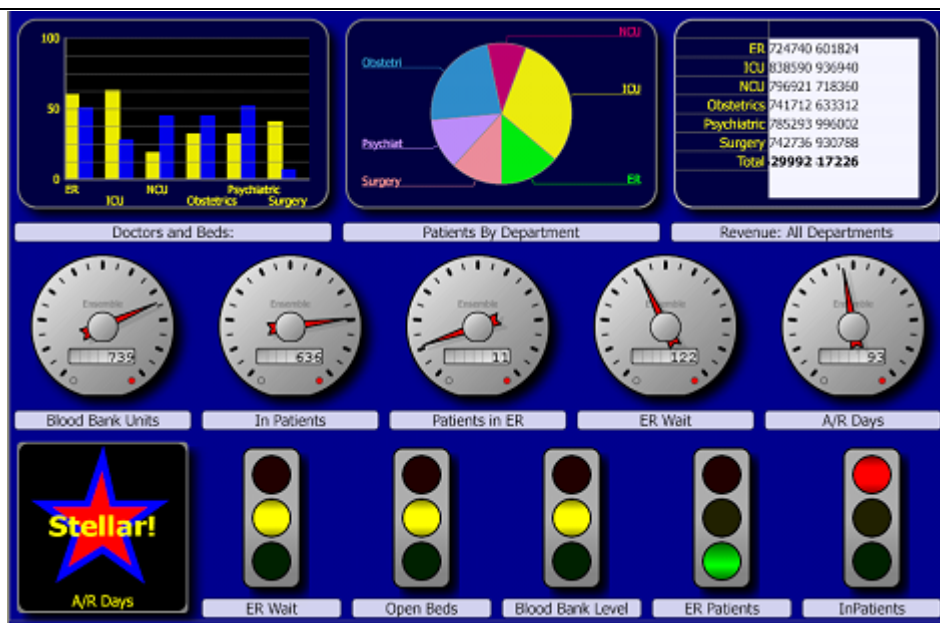
■リアルタイムの組込型BIを搭載

組込型ビジネスインテリジェンス「InterSystems DeepSee」により、現在運用している業務データをリアルタイムに分析し、より良い意思決定を支援。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :



Ensemble を使った、院内システム、データベース接続例



**ENSEMBLE ダッシュボード画面例**  
リアルタイムの状況をビジュアルに表示。  
しきい値設定により警告等可能。

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無:

HL7(Ver2、Ver3) 対応 (ライセンスタイプにより有償)

6) 動作環境 (ソフトの場合)、ハードスペック (ハードの場合):

対応 OS: Microsoft Windows、Red Hat Enterprise Linux、SUSE Linux ES、HP-UX、HP OpenVMS、HP Tru64 Unix、IBM AIX、Oracle Enterprise Linux、Oracle Solaris、Mac OS X

7) 稼働までに必要な作業・期間:

最短で2週間程度。ただし、システムによる。

8) 価格 (桁数 (日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い):

7桁

9) 保守の内容と費用:

テクニカルアシスタンス: ライセンス料金の7%、ソフトウェアアップデート: ライセンス料金の15%

10) 問い合わせ先 (販売会社 担当者、URL、e-mail 等) および開発元 (もし別途あれば):

インターシステムズジャパン株式会社  
お問い合わせ担当  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-10-1 日土地西新宿ビル 17F  
TEL: 03-5321-6200 / FAX: 03-5321-6209  
Mail: info@intersystems.co.jp  
URL: <http://www.intersystems.co.jp>